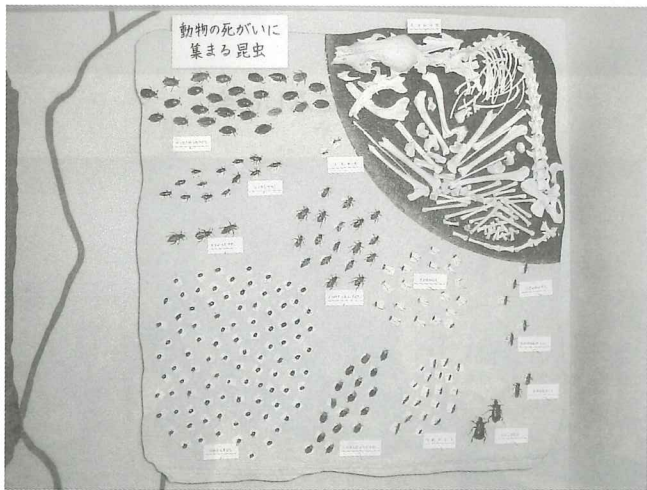


郷土館発

郷土館で、猪津夫先生の愛した設楽の動物たちとふれ合ってみませんか

今年の夏、先生のご家族にお願いして、郷土館のロビーに、原田猪津夫先生の追悼記念誌「自然を友として」を置かせていただきます。奥三河郷土館は、先生の豊富な知識と、誠実で親切な人柄によって展示された郷土館だからです。

この秋、二日続けて来館し、その本を何度も手に取り、何度も読み返している人がいました。哺乳類のことで先生と一緒に調査をされたことがある方でした。その人は「この郷土館の展示から猪津夫先生の人柄が伺える」



自然界の掃除屋さん

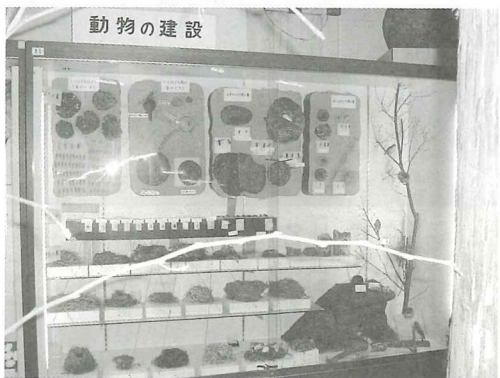
たものです。」と紹介しています。お話を伺い、この文により一層の愛と知性を感じました。郷土館の自然資料は、猪津夫先生によるものが中心となつて展示されています。郷土館で猪津夫先生が愛した設楽の動物たちとふれ合ってみませんか。

設楽町は、多種多様な動物に恵まれ、自然を観察するにはとつてもよい地域です。



と話されました。その例の一つとして、「動物の死骸に集まる昆虫」を紹介し、根気強い観察と作業、わかりやすく見ていただきたいという愛情にあふれた配慮がないとできない展示だと教えていただきました。

この展示について猪津夫先生は、自著の「奥三河郷土館の展示資料に見る設楽の自然」に、「自然界には動物や植物の遺体をきれいに掃除してくれる動物がいます。わたしたちはその動物を「自然界の掃除屋」と言っています。ここに展示してあるのは一頭のキツネの死体を山野に放置しておき、これに集まった掃除屋の虫を毎日採集し分類し



(奥三河郷土館 加藤 紘市)